

令和3年2月25日 会頭記者会見 発言要旨

■京都経済の現状認識について

京阪神3知事が緊急事態宣言の解除を要請したが、これは“感染状況が大きな山場を越えた”と判断されたものだと認識している。この間、医療従事者をはじめとした多くの皆様の献身的なご努力に対し、心から感謝を申し上げたい。

ただ、新規感染者数は落ち着きを取り戻しているものの、感染再拡大や医療提供体制の逼迫を懸念する声もあり、決して気を緩められる状況ではない。経済活動の維持には安定した医療提供体制の確保が前提となる。二度と緊急事態宣言を繰り返さなくてもよいように、引き続き感染の封じ込めを徹底することが重要だ。

日経平均株価が30年ぶりに3万円の大台に乗ったが、厳しい経営を強いられている中小企業が多数である中では、実態からかけ離れているように感じている。特に飲食、運輸、宿泊、小売など、人の流れが止まることで業況が悪化する業界では、本当に歯を食いしばって頑張っている状況だ。主要ホテルであっても1月の客室稼働率は15%前後と、昨年同月と比べて8割の減少となっており、収益面はもちろん精神的にも大変追い込まれている。

ようやく京都においても、医療関係者に対するワクチン接種がスタートしたが、段階的に導入されることから、効果が表れるまでにはしばらく時間がかかると見ている。事態の長期化が予想される中、金融面など事業継続に向けた支援を最優先に注力するとともに、コロナ禍からの再起に向けた中小企業の挑戦を後押しする支援を行い、社会経済活動のレベルを徐々に引き上げていくことが必要となる。

■2021年度事業計画の方針について

次年度のテーマは、会員企業の知恵と力を合わせ、このコロナ禍をなんとしても乗り越えていきたいとの想いを込めて、「京都経済の再生と新たな成長へ向けて ～京都の『生きるちから』でコロナ禍を克服する～」と設定した。

最重点の取り組みは、経済再生の中心を担う中小企業の事業継続とビジネス変革への支援だ。業種や業態によってその影響は様々であり、企業ニーズにきめ細やかに対応できるよう、支援体制や支援内容を強化・充実して取り組んでいきたい。また、コロナの影響によって社会・経済状況の見通しが不透明となっており、変化に応じて各事業ともに実施の可否を含めて、機動的に計画を見直して実施していくこととなる。さらに事業活動の前提となる安定した「医療提供体制」を確保するために、企業の対策強化に加えて、医療現場で頑張っておられる皆様に感謝の気持ちを伝える品を、応援が十分に行き届いていない病院を中心にお届けできないか検討を進めているところだ。

計画の枠組みについては、「VIVID KYOTO」のコンセプトと「しなやかに ともに いきる」というスローガンを踏まえて、「ともに考え、行動し、明日をつくる」という事業方針に基づいてまとめている。

推進分野【企業】では、この危機をともに生き抜き京都経済の未来を拓くために、「中小企業の事業継続支援体制の充実強化」と「事業再構築への支援強化」を重点に位置づけ、全力で支援していく。

変化の予測が困難な時代に臨機応変に対応するためには、人材力を高めることも重要だ。推進分野【ひと】においては、「京商知恵基金を活用した起業家支援事業『K-CAP』の展開」を重点項目とし、社会課題の解決を図るビジネスなど若手起業家の発掘・育成に向けた取り組みを加速させることとしている。特に来年度からは、京都でのビジネス展開を目指す全国の若手起業家を対象に、新たに「京都・知恵アントレ大賞」をスタートする。有望な起業家を発掘・選考し、革新的事業の実用化を集中的に支援していく。

推進分野【まち】においては、世界を魅了する京都ブランドを創造・発信するために、15回目を迎える京都創造者大賞などの事業を実施する。特に、コロナ禍からの回復局面を見据えて、2022年度中といわれる文化庁移転に向けた「文化」と「産業」の連携強化や、オール京都による機運醸成事業にも取り組んでいく。また、世界への京都ブランドの発信には観光産業の復活が不可欠だ。観光関連事業者を対象に、コロナ対策やアフターコロナ社会への対応等に関する講演会・セミナーを開催し、ビジネス環境の変化や新たなビジネス様式への対応を支援していく。

コロナ禍からの経済再生は、行政等との連携が不可欠であり、関係機関との連携をこれまで以上に強化して取り組んでいきたい。

なお事業計画案は、3月30日の議員総会で正式に決定することとしている。

■知恵ビジネス関連事業の実施について

オール京都で知恵を活用した商品の販路拡大を図る展示商談会「京都知恵産業フェア」と「知恵-1グランプリ ファイナルステージ」の、2つの事業について紹介する。

「京都知恵産業フェア」は、2回目の開催となる「京都インターナショナル・ギフト・ショー」と併催して実施する BtoB 展示商談会だ。京都の伝統や文化を背景に、現代のニーズに即した付加価値の高い商品を生み出している 120 社が出展し、3月10日・11日の2日間、「みやこめっせ」において開催する。感染対策を万全に行い、オンラインの情報発信などにも力を入れながら、多くのバイヤーの目に留まるよう、京都企業の販路開拓を支援していく事業だ。

今年度初めて実施する「知恵-1グランプリ」のファイナルステージでは、企業の成長ステージに応じた3つの部門のうち、「イノベーション部門」「コラボレーション部門」の公開プレゼン審査を実施し、グランプリを決定、同日に表彰式を行うもので、3月2日にリーガロイヤルホテル京都にて開催する。村田副会頭が審査委員長を務めており、ここから新たな知恵ビジネスが誕生する機会となることを期待している。

これら2つの事業について、積極的な情報発信と当日の取材についてご協力をお願いしたい。

記者からの質問事項

■医療従事者や医療機関への支援は、本来は国や自治体の役割だと思うが、京商として直接支援を行うことを決めた理由と、具体的にどのような支援を想定しているか教えてほしい。

<塚本会頭>

おっしゃる通り、医療機関等への支援は本来的には行政の役割になるが、そういった支援の目が行き届いていない小規模な医療機関を想定して、そこで働く医療従事者に対して支援したい。具体的には、本所の会員企業に協力いただきながら食事等の面で支援できる内容を検討している。

■緊急事態宣言の早期解除を京阪神 3 知事が政府に要請したが、京都経済への影響なども含めどのように捉えているか。

<塚本会頭>

冒頭で申し上げた通り、宣言の早期解除要請については、各自治体のトップがそれぞれの状況を踏まえて判断されたものだとして認識している。京都について言えば、感染者数は大阪・兵庫と比べても少なく、解除に相当する状況にあると考えている。

解除後の飲食店等への時短営業要請については、京都のまちの規模は東京や大阪に比べて小さく、極端に密集しているわけではないため、各店舗がこれまで通りの感染防止策をしっかりと講じていくことができれば、時短営業をせずとも感染は十分に抑えられるのではないかと考えている。

■緊急事態宣言の解除が見えつつある中で、テレワークの推進など、感染防止策について会員企業に対してどのように呼びかけていくか。

<塚本会頭>

緊急事態宣言下での取り組みの結果、新規感染者が大きく減少しているという事実がある。これを前提とすれば、引き続き警戒を緩めることなく、これまでと同様の対策を続けることが重要であり、各企業にもしっかりと対応していただきたいと考えている。

■京都を代表する企業、特に製造業を中心に、コロナ禍の中にあっても業績を伸ばしているところが多いが、そういった企業を育んだ京都経済の特徴をどのように分析しているか。

<塚本会頭>

消費者の目線を意識してものづくりを行っている結果として、世の中のニーズを的確に掴み、コロナ禍でもしっかりと業績を出しているのではないかと考えている。また京都企業の多くは、東京や世界へ進出しても本社機能を京都に残したままであり、そうするために相応の覚悟をもって臨んでいる。何か大きなことが起きたとしても、慌てず冷静に対応できるという点も特徴として挙げられるのではないかと考えている。

■京都経済の課題として、昔に比べて近年は大きな上場企業を輩出できていないことが挙げられているが、これまで足りていなかった要素やこれからの課題について、どう考えているか。

<塚本会頭>

京都は新しいことや珍しいことに対して、研究したり起業したりするような人たちが集まっており、またそういう人たちの支援をしたいという企業もたくさんある一方、双方がうまく連携でき

ていない面もある。京都の中から意欲ある若い起業家を発掘・発信することで、企業とのマッチングを図り、京都の新たな活力となるようしっかりと支援していくつもりだ。

■緊急事態宣言が解除される見通しとなったが、解除後の京都観光をどのように支援していくのか。また GoTo トラベルについてどのような形で再開していくべきと考えているか。

<塚本会頭>

あくまで私見であるが、日本全体として感染状況がもう少し落ち着くまで GoTo トラベルは再開すべきではないと考えている。変異ウイルス株も国内各地で確認されており、状況がどう転ぶかわからない中では、危険が大きいのではないかと。観光関連事業者にとっては厳しい状況が続くが、こうした感染の状況をしっかりと見極めたうえでの再開を検討していかなければならない。

■展示会や販売もオンライン化され、中小企業や伝統産業にも IT 化が求められる時代になったが、こうした事業者が抱える課題についてどう考えているか。

<塚本会頭>

伝統工芸に関して、これまでは全国・世界中から京都に多くの人を訪れており、訪れる人に対する待ちの商売で成り立ってきた事業者が多くあった。一方でそういった小さな事業所でも、最近では全国に進出しようという風潮になってきていた。

伝統産業分野の中小企業にとっては IT 化への対応が難しい部分もあるが、現在、京都への往来が難しい中で、オンライン展示会や EC サイトの発達により、より多くの人に京都の底力ともいえる魅力的な商品を知っていただく機会を創出できるのではないかと考えている。IT・デジタルツールの普及により、想定していなかった地域や分野、業界等へのアプローチがしやすくなるなど、現在の状況をチャンスだと捉えて販路の拡大等に取り組んでいくことが重要だ。

■GoTo トラベルについては、緊急事態宣言の解除とセットではなく、現状では再開が難しいという考えか。

<塚本会頭>

先ほども申し上げた通り、あくまで私見としては、緊急事態宣言の解除後すぐに再開することは難しいと考えている。実際には行政として現状をしっかりと見極めたうえで、再開の可否を判断されるものと理解している。

現状、京都における感染数は下がってきているものの、全国から観光客を呼び込むことによる再拡大の恐れを拭いきれない。観光関連事業者を中心に再開を望む声が強いは認識しているが、再開と感染拡大のリスクは表裏一体といえるものであり、慎重に判断すべきだと考えている。京都としても安心して観光客を受け入れることができる状態になってからの再開が望ましいのではないかと。

■大阪・関西万博について、昨年末に基本計画が策定され、間もなく企業向けパビリオン出展の説明会が始まるが、今後どのような対応をとっていくつもりか。

<塚本会頭>

以前の会見でも述べたが、世界的な大企業は興味を持っているところもあるかもしれないが、

京都においては、まずは万博に対する興味・関心を醸成することが必要だ。コロナ禍により、まずは自社の経営を安定させることが目下の課題であり、万博にまで手が回る中小企業は少ない。まずは京都における万博開催を歓迎する機運醸成に努めたい。

以 上



会 頭 記 者 会 見



日時：令和3年2月25日(木)14:45～15:15
会場：京都ブライトンホテル「カディコート」

1. 京都の経済状況について

2. 2021年度事業計画の方針について

・・・資料①

3. 知恵産業の推進に関する事業の実施について

・・・資料②

以 上

京都経済の再生と新たな成長へ向けて ~京都の「生きるちから」でコロナ禍を克服する~

基本的な考え方

- コロナ禍の影響を踏まえ、事業継続とビジネス変革への支援を最重点に位置づける。
- 感染状況や社会変化に応じて、各事業の実施可否を含めて機動的に計画を見直し、実施する。
- 安定した「医療提供体制」確保のため、企業の対策強化に加えて、医療従事者や医療現場の活動に必要な支援を行う。

京都の知恵 事業方針

(キーワード) 個性の共存

- 企業
- 個性豊かな企業が集積
 - 個性を尊重し、認め、高めあう
 - 個性が結びつき、新たな価値を生み出す

(キーワード) おもてなし

- ひと
- にじみで、押し付けない気づかい
 - 心からもてなし、提案する姿勢
 - しなやかに変化する強さ
 - 常にその時代をつくりだした先人の知恵

(キーワード) ひと・もの・こととの交流

- まち
- 刺激があり、ひきつけるまち
 - 新たな発見がある交流のまち
 - 不易流行のまち

+ VIVID (生きるちから) で、ともに考え、ともに行動し、ともに明日をつくる

| 推進分野【企業】 | 今日を生き抜くちからで ともに明日をつくる | | |
|---|--|---|--|
| <p>① 京商12,000会員の知恵を結集して、互いに強みを引き出し、より良い経営環境をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新しい生活様式に対応した交流機会の創出など「会員交流強化プロジェクト」の推進 ○ 「定例会員講演会」のWEB配信など、ITを活用した会員とのつながり強化【新規】 ○ 50年目を迎える「京商はんなり共済」など会員の絆で支える共済制度の普及促進 ○ 会員の声を国や京都府・市等の政策に反映させるための提言活動の強化 ○ (令和4年)本所創立140周年記念事業の推進【新規】 | <p>② 創業、事業継続・再構築から事業革新・引継ぎまで成長サイクルに応じた支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 中小企業の新型コロナウイルスの影響に対する事業継続支援体制の充実強化 <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスサポートデスクなど経営相談窓口の強化継続 ・中小企業再生支援協議会、事業引継ぎ支援センターの強化【新規】 ○ 新ビジネス展開など事業再構築への支援強化 <ul style="list-style-type: none"> ・知恵の経営や経営革新等の事業計画策定や補助金等の活用支援 ・中小企業の生産性向上にむけたIT化(DX)の促進支援 ○ 未来志向の企業経営を考える「京商フューチャーフォーラム」の開催 | <p>③ 顧客視点の新商品開発や展示・商談会等を通じた国内外市場への販路開拓を支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ファッション京都推進協議会・JETRO京都と連携した海外向けオンライン展示・商談会の実施【新規】 ○ 海外向け事前マッチング型オンライン商談会の実施【新規】 ○ さらなる知恵ビジネスの成長モデルを発信する「知恵-1グランプリ」の実施 ○ オール京都による販路開拓支援事業「京都知恵産業フェア2022」の開催 | |
| 推進分野【ひと】 | 幅広い視点から次世代の知恵を育む | | |
| <p>① 次代を担う、京都ならではの起業家を発掘し、成長段階に合わせた支援を提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 京商知恵基金を活用したK-CAP(※)事業の展開 <ul style="list-style-type: none"> ※京都・知恵アントレプレナー支援プログラムの略称 ・若手起業家を発掘・選考し、革新的事業の社会実装を集中支援する「京都・知恵アントレ大賞」(仮称)の開催【新規】 ・スタートアップ等の成長企業とビジネスパートナーとの出会い・マッチングに向けた「京商イブニングピッチ」の拡充開催 ・次代を創る「ビジネスリーダー育成セミナー」の開催【新規】 ○ (一社)京都知恵産業創造の森との連携強化 | <p>② 有望人材の採用支援や、経営人材、自立型人材の育成を図り、会員企業の成長を後押し</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 大学生に中小企業の魅力を伝えるための「学内企業説明会」の実施【新規】 ○ 経営者の出張授業など、京都府立大学との包括連携協定に基づく産業人材育成事業の実施【新規】 ○ 多様な人材の活躍事例を学ぶ「ダイバーシティ経営セミナー」の開催など中小企業におけるダイバーシティ経営の促進 | <p>③ 研修・検定を通じた産業人材の資質向上・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 【京商ビジネススクール】オンライン講座による研修機会の拡充や研修効果の高いオーダーメイド研修の充実 ○ 簿記検定試験の多様化(年3回の統一試験、ネット試験、出前試験)による受験者拡大【新規】 ○ 受験者の分散化と受験機会の創出のための京都・観光文化検定試験の3級試験の追加開催(7月)【新規】 | |
| 推進分野【まち】 | 文化の多彩な展開で世界を魅了する京都ブランドへ | | |
| <p>① 世界を魅せる京都ブランドの更なる創造と発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 第15回の節目を迎える「京都創造者大賞2021」の実施 ○ 新たなブランド発信事業の検討 ○ JETRO京都と連携した「京都ブランド海外展開助成金」を通じた世界へのブランド発信 ○ 文化庁移転に向けた文化と産業の連携強化やオール京都による機運醸成事業の推進 | <p>② 文化資産の磨き上げ、開発・提案を通じた観光、伝統、コンテンツ産業の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ アフターコロナ社会に対応する観光関連事業者の新しいビジネス様式を考える講演会・セミナー等の開催【新規】 ○ オンラインを活用した伝統産業工房訪問ツアーの実施【新規】 ○ 「花灯路」「祇園白川さくらライトアップ」など夜観光・宿泊観光推進事業の支援・実施 ○ 「KYOTO CMEX2021」開催など、コンテンツ産業の振興 | <p>③ 広域連携による先進的産業づくりや都市インフラ整備を推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本所議員を中心に、産業や人材、まちづくりに関する未来志向の議論を行う「京都経済人会議」の開催 ○ 2025年大阪・関西万博開催に向けた協力 ○ 北陸新幹線をはじめとする鉄道網や高速道路・幹線道路などの道路ネットワークの整備促進 ○ 京阪神の連携等によるライフサイエンス関連産業の振興 ○ スタートアップ・エコシステム拠点都市形成に向けた取組 | |

記者発表資料
(府・市・経済同時)

令和3年2月25日

各 位

京都知恵産業フェア実行委員会



「京都知恵産業フェア 2021～しなやかに ともに 生きる～」開催について

平素は、格別のご支援ご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、このたび第2回目となる「京都インターナショナル・ギフト・ショー2021」に併催し、「京都知恵産業の集合体」として、オール京都による「京都知恵産業フェア 2021」を実施いたします。

京都におきましては、これまでより府内の行政機関や産業支援機関が連携し、地域の特性や企業が持つ強みを活かし、新たな価値創造・顧客創造を図る“知恵ビジネス”に取り組む中小企業の育成に努めてきました。その結果、現在、各種知恵の認証・認定制度で評価を受けた企業、またその予備軍を含めると約3000社を超えるまでに至っております。

京都知恵産業フェアとして、標記の事業を実施することにより、出展者の新規販路開拓や事業提携などを支援するとともに、困難な時代をしなやかに生きる個性豊かな京都の魅力を発信していきたいと考えております。

つきましては、本事業への取材等につきまして、格別のご高配を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

<新型コロナウイルス感染症対策>

今回、併催事業である「京都インターナショナル・ギフト・ショー2021」主催者である(株)ビジネスガイド社が、会場である京都市勧業館みやこめっせと(一社)日本展示会協会のガイドライン及び京都府・京都市の方針に沿って作成された感染防止の対応指針に沿って、感染防止策を講じ実施いたします。

■主催 京都知恵産業フェア実行委員会

〔構成〕: 京都府、京都市、京都商工会議所、(一社)京都経営者協会、
(一社)京都経済同友会、(公社)京都工業会、(公財)京都産業21、
(公財)京都高度技術研究所、(地独)京都市産業技術研究所

〔事務局〕京都商工会議所 中小企業支援部

〒600-8565 京都市下京区四條通室町東入 京都経済センター7階

京都商工会議所 中小企業支援部内

TEL:075-341-9781 FAX:075-341-9798

事業概要

■京都知恵産業フェア 2021

京都の知恵を活かした個性豊かなライフスタイル関連の商品を一堂に集めた BtoB の展示商談会です。「第 2 回京都インターナショナル・ギフト・ショー2021」と併催して開催します。

【日 時】令和3年 3 月 10日(水)10:00～18:00 / 3 月 11日(木)10:00～17:00

【場 所】みやこめっせ(京都市勧業館) 3 階(京都市左京区岡崎成勝寺町 9 番地の 1)
※「第 2 回京都インターナショナル・ギフト・ショー2021」会場内

【出展者】知恵ビジネスに取り組む事業者 120 社

【出展カテゴリ】 ライフスタイル、ファッション、ビューティ&コスメ、フード

【出展商品コンセプト】

- ・京都ならではの技術、伝統、デザイン、感性、物語性を感じられる商品
- ・バイヤーや市場ニーズに対する適合性や話題性のある商品
- ・市場に出回っていない、独創性に富んだ商品や技術等を活かして新たに開発した商品

【プロデューサー】

久野 真嗣 氏 (Show you 代表、株K's 共同代表)

【トピックス】

- ・京都知恵産業フェア 2021 の HP 上で、各社の出展情報を発信するとともに、京都のものづくりの魅力を紹介する動画を通じて、オンラインでの情報提供にも取り組みます。(近日公開)
- ・併催するインターナショナルギフトショーが提供するポータルサイト「Gift net」と連携することで、ハイブリッド型商談(リアル+オンライン)の機会を創出します。

第1回 知恵-1 グランプリ ファイナルステージ ～公開プレゼン審査・発表会／表彰式～

京の活きた知恵を 今日の生きるちからにかえて ～ ますます飛躍する京都企業が集います

自社の強みや知恵を活かし新たな顧客創造を目指すビジネスプランを認定する「第1回 知恵-1グランプリ」もいよいよ大詰めファイナルステージを迎えます。第1部では、今回新たに創設されたイノベーション部門とコラボレーション部門の公開プレゼン審査を実施します。第2部では、既に審査が終了しているチャレンジ部門も併せて結果発表と表彰式を行います。オール京都で取り組んできた知恵の集積を活かし、さらに次の成長ステージを目指す企業の新しいビジネスプランをご披露します。ぜひご参加下さい。

日時 令和3年3月2日(火) 13:30～17:15

場所 リーガロイヤルホテル京都 2階「朱雀の間」

[京都市下京区東堀川通塩小路下ル松明町1番地]



参加無料

内容 ① 第1部 公開プレゼン審査

知恵の認証・認定企業が、これまでのビジネスモデルを深化させ、新たな顧客創造を図るビジネスプランを発表します

《イノベーション部門 ノミネート企業 5社》(順不同)

(株)青木光悦堂、(株)イワタ、(株)坂製作所、大東寝具工業(株)、高橋練染(株)

《コラボレーション部門 ノミネート企業 2グループ》(順不同)

(株)Seed Bank×(株)大西常商店、(株)FUKUDA×(株)セブンス

② 第2部 発表会／表彰式

チャレンジ部門・グランプリ企業によるプラン発表と優秀賞のご紹介

イノベーション部門・コラボレーション部門の結果発表と全部門の表彰式を行います

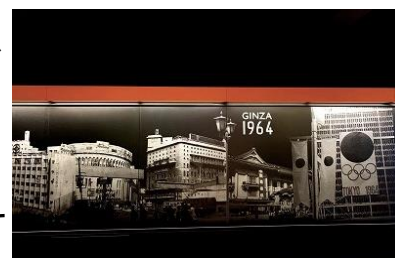
《チャレンジ部門》

★初代グランプリ★ 川並鉄工株式会社

認定プラン「金型加工技術を使った金属製建築用大判デザインパネル製造・販売」

《チャレンジ部門優秀賞 5社》(順不同)

(株)金箔押 山村、(株)デザインハウス風、(株)ニューネクスト、(株)マリ、(株)ミズタニ



川並鉄工⇒メトロ銀座線で採用されたデザインパネル

定員 80名(先着順) / 申込み締切 2月24日(水)

※マスク着用での参加をお願いします。会場でのアルコール消毒、検温にご協力下さい。
※新型コロナウイルス感染拡大の影響により開催形態が変更になる場合がございます。



お問合せ

京都商工会議所 中小企業支援部 知恵産業推進課

メール: bmpj@kyo.or.jp TEL:075-341-9781

第1回 知恵-1 グランプリファイナルステージ 申込用紙

FAX:075-341-9798 E-mail:bmpj@kyo.or.jp

| | | | |
|-------|--------|--|--|
| 貴社名 | | | |
| 所属・役職 | 氏名 | | |
| TEL | E-mail | | |

※ご記入頂いた個人情報、本事業の管理・運営のため、本所事務局の各種連絡・情報提供に利用させていただきます。また、本事業は京都府・京都市の補助金を受けて実施しているため、京都府・京都市へ参加者名簿(同上)を提供する場合がございます。体調が悪い方は出席をお控え下さい。